令和5年度 一般会計予算

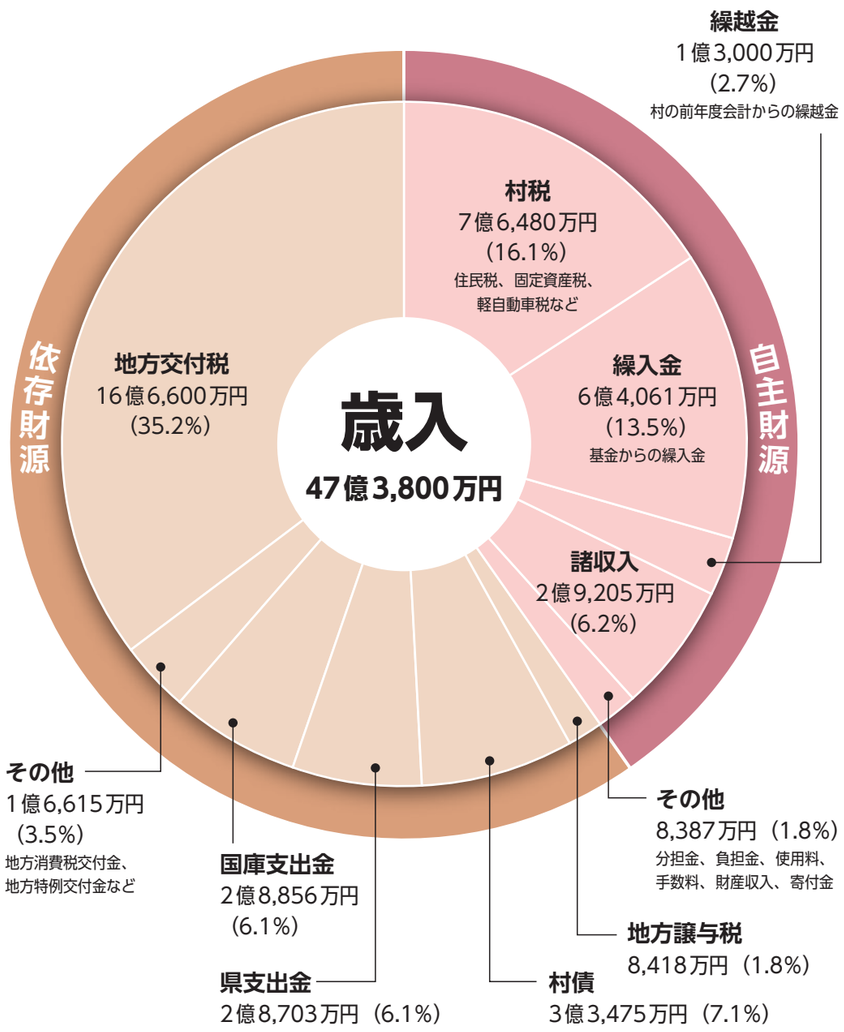
令和5年度の一般会計予算総額は47億3、800万円で対前年度5億2、200万円増（12・4％）になります。本年度予算の概要と、主な取り組みをお知らせします。

依存財源…28億2,667万円（59.7％）

国や県に依存するかたちで調達する財源で、村の借金である地方債もこれに含まれます。昨年度より2億9,137万円（11.5％）増加の見込みです。

自主財源…19億1,133万円（40.3％）

村が自らの権限に基づいて自主的に収入する財源で、国や県に依存せずに独自に調達できる財源。昨年度より2億3,063万円（13.7％）増加の見込みです。



令和5年度は、原村総合計画後期基本計画の3年目となりました。将来に希望の持てる村として、喫緊の課題を選択し、積極的に新たな施策を盛り込んだ予算編成としました。

令和5年度予算の基本的な考え方として、村単事業については、実施期間を設定して取り組み、効果及び達成度を検証して、廃止、見直し又は継続を判断しました。公共施設の維持補修・更新については、「原村公共施設等総合管理計画」に基づき実施し、様々な角度から交付金・地方債等の活用を模索し、財源確保に努めることとしました。コロナ感染症への対応は、引き続き、国・県の動向を注視しながら随時の対応としました。

将来見通しは、これまで同様、少子高齢化社会が進み社会保障などの扶助費の増加が避けられない状況であります。「原村公共施設等総合管理計画」では、村が所有する公共建築物・インフラ施設の更新に、40年間で年平均9・7億円という費用が必要との試算が出ており、財源不足が見込まれます。

令和5年度歳入は、コロナ禍から社会活動の通常化がみられることから、緩やかな持ち直しと国の経済成長を勘案して、村税は令和4年度より増額を見込みました。

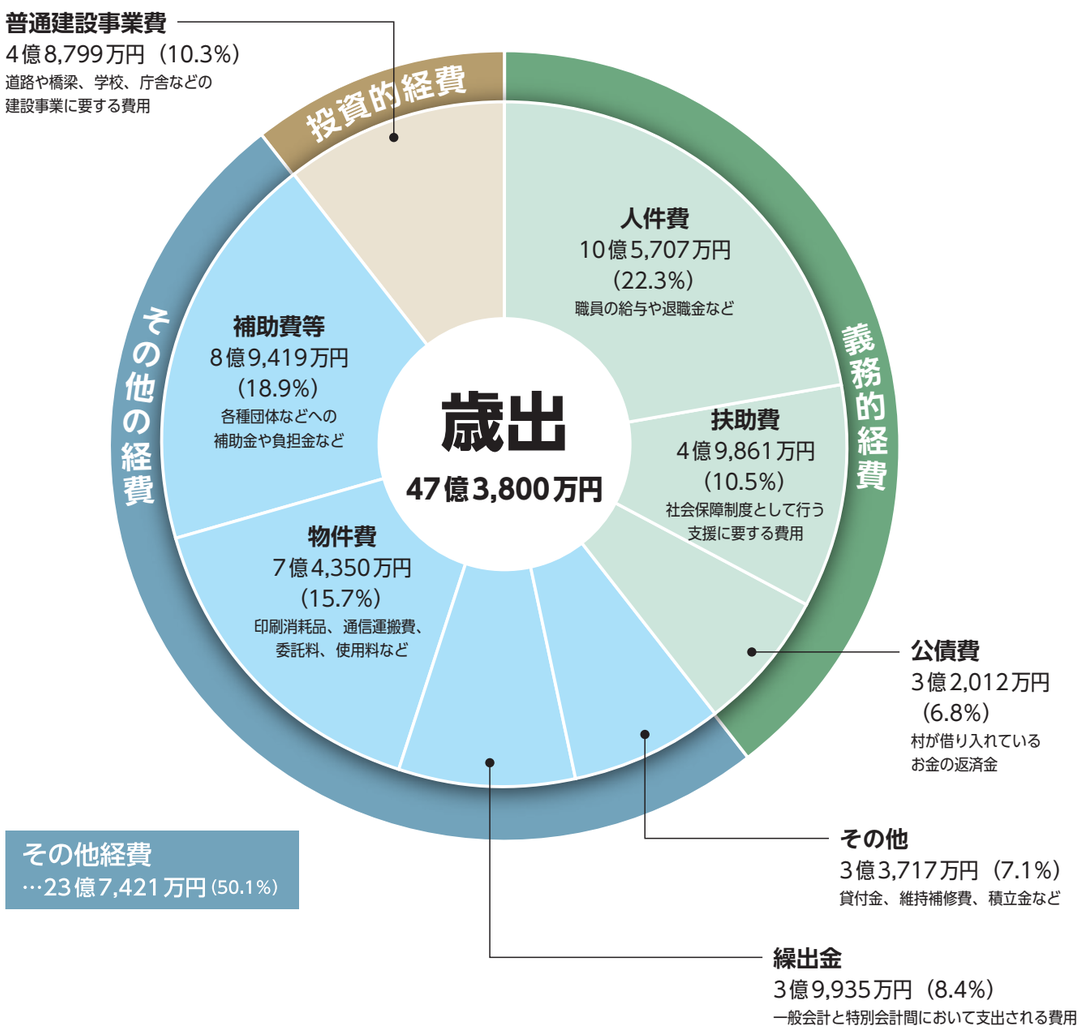
繰入金は、財政調整基金、公共施設等総合管理基金、教育振興基金等を取崩して事業に充てます。

令和5年度歳出は、小中学校エアコン設置工事、防災倉庫建設工事、合葬式墓地建設工事など大型の単独事業を行います。補助金は、出産祝金事業、結婚新生活支援事業補助金等を新設しました。

問 住民財務課　財政係
☎79-7924（直通）

投資的経費…4億8,799万円（10.3％）

支出の効果が、最終的に資本形成に向けられる普通建設費や災害復旧事業費。昨年度より3億2,801万円（205.0％）増加の見込みです。

義務的経費…18億7,580万円（39.6％）

法令やその性質により、支出が義務付けられている人件費や扶助費、公債費。昨年度より5,516万円（3.0％）増加の見込みです。